

事務事業名	木綿の里もおか“ほっと”なまちづくり推進事業			担当	産業環境部 商工観光課 商業係	
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		電話番号	0285-83-8643	
施策名	04	観光の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）	
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	4.木綿の里もおか“ほっと”なまちづくり推進事業		
事業概要	<p>県の「わがまち自慢」推進事業を活用した、ひととまちが「ほっと」できるまちの実現を図るため、「もおか木綿」を核とした、歴史と文化を活用した市民協働のまちづくりを推進し、「木綿の里もおか」を外にPRして賑わいを創出し、地域の活性化を図る。</p> <p>北関「真岡IC」開通を契機とし、真岡木綿会館と物産会館、岡部記念館「金鈴社」を一体として観光の拠点として位置づけ、真岡商工会議所と連携を図りながら中心市街地の活性化を図る事業を推進する。平成20年度～22年度3ヵ年継続事業、総事業費6,240万円 平成22年度実績 1,798万円</p> <p>1.もおか木綿知名度向上事業＝機織り高度技術者養成、新商品研究開発、織姫もめんフェスタ開催</p> <p>2.もおか木綿継承推進事業＝身障者用機織り機 1台</p> <p>3.もおか元気まちづくり事業＝もおか元気まちづくり研究会運営、ボランティア養成、リーダー育成・組織支援</p> <p>4.まちなかイベント活性化事業＝もおか木綿ふれあい祭り10月10日、天の織姫市6回</p> <p>5.観光拠点整備事業＝織姫キャラクター石像 2体</p> <p>6.オンライン商品開発事業＝豆腐料理の普及宣伝、土産品(毒)名物料理開発・試食会</p>					

1. 現状把握の部

① 手段（主な活動） 22年度実績 補助金交付事務 会議、イベント等への参加  23年度計画 廃止	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	会議の開催	回		48	65	59	
イ	研修会・講習会の開催	回		15	42	35	
ウ	補助金額	万円		1,350	1,816	1,736	
エ							
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民等 真岡商工会議所他	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	もおか元気まちづくり研究会メンバー数	人		28	36	33	
イ							
ウ							
エ							
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民と協働でまちの元気と賑わいの創出を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	市民がイベントに出店した数	店		88	246	181	
イ	門前地区の空き店舗に出店した店舗数	店		0	3	3	
ウ	イベントの来客数	人		50,000	65,000	65,000	
エ							
オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 元気と賑わいを創出することにより、中心市街地の活性化と観光の振興を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	年間観光客入込数	万人		242	278	281	
イ							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	10,836	9,519	8,688
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	561	259	627
	一般財源	千円	0	12,898	10,343	8,700	
	事業費計(A)	千円	0	24,295	20,121	17,985	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	2	2	2
		延べ業務時間	時間	0	275	325	315
		人件費計(B)	千円	0	1,149	1,318	1,344
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	25,444	21,439	19,329	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成20年4月の「真岡木綿会館」オープンにあわせて、「わがまち自慢」推進事業を導入したまちづくりを県に申請し採択になった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成21年度末に「木綿会館駐車場」を整備したことにより、大型バスでの来館者増が見込まれるとともに、「天の織姫市」等のイベント会場として有効活用を図っている。 元気まちづくり研究会の継承組織として、NPO法人が設立された。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	補助終了後の自主的な事業継続を、どのように進めていくのか。 元気まちづくり研究会メンバーや参加ボランティアの意見・要望と、事業目的の整合性をどのようにしていくのか。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民と協働で賑わいを創出し、中心市街地の活性化と観光の振興を図ることは、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民と協働で賑わいを創出し、中心市街地の活性化と観光の振興につながり、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民を対象に、中心市街地の活性化やまちづくり、観光の振興につながり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 中心市街地の賑わいと観光客の増加につながり、成果があがっている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 3年間の実績を踏まえ、市民主体の取組みを推進する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？  ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない  <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事業費で、計画的に取り組んでいる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議や連絡調整作業が多く、必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 事業ごとに、実施主体の自己負担がある。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 関連事業として、空き店舗活用対策と創業支援を兼ねた「まちなか出店にぎわい創出支援事業」を進めていく。 継続して実施していく事業や新たに展開していく事業に対して、現行の補助事業により支援していく。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							